

おおはらコミュニティスクールだより



10月号

つながれ 大原！みんなで 笑顔に！

コミュニティスクールによせて

わくわく部会長 雲 佳裕

コミュニティスクール制度を導入することによって、学校と地域住民、地域住民同士の関わりを増やすことができ、地域の活性化につなげることができます。また、コミュニティスクールによって顔見知りの人が増えることで、間接的に地域の防犯にも貢献することができます。コミュニティスクール制度の導入により、子どもたちは地域の方々と共に活動することになります。それは学校の先生や家族以外の大人との触れ合いであり、価値観が多様化した現代において、子どもたちが様々な考え方に触れる機会、気付く機会が多く得られることは有意義な経験になると思います。活動は、できる人が、できる時間に、できることを選んでいただき、子どもたちの成長を支えていく活動となっています。子どもたちを地域、家庭、学校が連携して見守り育てていけるよう引き続きご協力をお願いします。

「広がり始めた 草引きの輪」

8月の終わりに大久保更生保護女性会の有志の方が、早朝草引きをしてくださいました。ほかに、「自分の都合のつくときにさせてもらえるといいな」と言っていた方、「子どもがいない土日の空いた時間に草刈りに行ってもいいよ」という声も。

ご自分の畑や田んぼの草引き・草刈りも大変だと思いますが、学校のため、子どもたちのためにと考えていただけるのがうれしいです。

学校へ一声かけていただき、実施いただけるとありがたいです。

「そしてあいさつの輪へ」

一方で、「まだまだあいさつができないなあ」という声もお聞きします。

あるスクールガードの方から、「最初はいいさつができない子、うまく話すことができない子に、毎日あいさつや言葉がけをしていると高学年になるころには、あいさつも会話もできるようになる。その成長が楽しいし、うれしい。だから、スクールガードも長い間続けられる。」とお聞きしました。

地域の方の声かけで、あいさつができるようになるのです。「できないなあ」から、「できるようしよう」に地域も生き生きと変わっていったらいいですね。それがコミュニティスクールの醍醐味ではないでしょうか。

創立150周年記念「日時計の庭」

11月24日には、記念式典が行われます。コミュニティスクールとしても150周年記念として『日時計の庭』を完成することにしました。現存する日時計を中心に、庭に花壇をつくり、大原自治振興会からいただいた木のベンチをおき、子どもたちはもちろん、地域の方々にとっても憩いの場、ふれあいの場になればいいなと思っています。

花壇が完成したら、環境委員会を中心に地域の方々と花植えをし、庭の完成にしたいと考えています。どうぞお立ち寄りください。

最近では、たくさんの方が学校に来ていただくようになって、子どもたちにも変化があるように思います。大人の方の来校を待っていてくれるようになりました。「学校の”おっちゃん”、”おばちゃん”」になっていただいています。「今日も、お願いします!!」そんな声が飛び交うようになってきました。今からでも、子どもたちのアイドルになれるかもしれません。



運動会に向けて

子どもたちは、2学期になっても毎日暑い中、運動会の練習に取り組みました。

ボランティアの方からも、練習のお手伝いに行きたいとのお声もいただきましたが、今年の異常な暑さに危険を感じ残念ながら見送りました。

9月20日には、地域の方々に草引きや草刈りに来ていただきました。トラックに伸びた草で子どもたちが足を取られては大変だと最後まで手を休めることなく草をひき、グラウンドの周りも伸び放題の草を何とかしようと草刈りをすすめていただきました。頭が下がります。



ミシン学習

5年生は、初めてのミシン学習に挑戦です。

一学期には、手縫いの学習をし、さらに今学期は、ミシンの学習になります。9月は、空縫いと試し縫い。10月から、ナップサックの製作に。地域の方に来ていただき、学習を進めます。どんな素敵なエプロンが完成するでしょう。

草引きボランティア11月6日

*** 時間の変更です 14:00より開始となります**